

校友・お店紹介

今回は豊島NPO促進協議会がリニューアル・オープンさせたカフェを豊島地域支部の事務局長であり同協議会代表理事も務める柳田さん(商・昭55卒)に紹介してもらいます。



みんなのえんがわ池袋

「みんなのえんがわ池袋」は、平成十九年十一月に、商店街の活性化と地域の皆様の居場所づくりを目的としてオープンしました。以来、地域の皆様のご理解とご協力



をいただき、コミュニティサロンフリーマーケット、近隣の皆様や豊島区、池袋にゆかりのある地域の皆様の作品などを展示する場所など、様々な形で活用していただきました。

そしてこの度、開業から十年を迎え、「みんなのえんがわ池袋」を大幅にリニューアルし、ナチュラルテイストのカフェスタイルに生まれ変わりました。

みんなのえんがわ池袋のカフェメニューは、長尾睦子さん(写真下)にお願いし、「えんむすび」というおむすびと、「えんちゃんクッキー」のレシピを考案していただきました。

一人でも、仲間同士でも気軽に立ち寄っていただける場として、セミナーやワークショップの会場として、また、地域活動を行なっている皆様の活動の場として、多く

の皆様にご活用いただきたいと考えています。

豊島区に、池袋に、みんなのえんがわに「縁(えん)」のある人たちが集まって、新しい「えん」が広がっていく、そんな「えん」をつないでいく場所になればいいな、と思っています。



〒171-0014

東京都豊島区池袋3-30-21

マルモビル一階

池袋駅西口から徒歩約15分、東京メトロ有楽町線要町駅徒歩約10分

池袋図書館隣り池袋第二公園向かい

お店の電話番号

〇三・六三二八・九六六八

お問合せ先電話番号

〇三・五九五一・一五〇八

総会開催のお知らせ

平成29年度総会・懇親会を左記の日時で開催します。皆さんのご参加を楽しみにしています。

日時 11月11日(土) 18時から
会場 ike・Bizとしま産業振興
プラザ(旧勤労福祉会館)
会費 五〇〇〇円

ミレイ会発足のお知らせ

明治大学校友会豊島地域支部では、60歳以上のシニアを対象に新たな集まりを設ける事にしました。その名は「ミレイ会」。懐かしい話に花を咲かせ、ひととき若かりしあの頃に戻って、なごやかに過ごしましょう。

※担当幹事 増田治美、山本守敏、後藤孝男

問合せは、後藤まで

●携帯

〇九〇・三八〇五・七〇七五

●ファックス

〇三・三九一六・五七五四

●e-mail

takgotot1948@woody.ocn.ne.jp

明治大学校友会豊島区地域支部会報

豊島支部 NEWS

2017年 第56号

校友会豊島区地域支部平成二十九年

暑気払い開催!



豊島区地域支部の三大イベントの一つである恒例の暑気払いが、平成二十九年八月五日(土)午後6時から池袋駅東口にあります第一イン池袋大宴会場「ピノ」で開催されました。

当日は、最高気温31・9度、湿度71%という大変蒸し暑い日で、夕方もその蒸し暑さは解消されず続いている中での開催でした。この日は、他地域支部のイベントと重なっておりました関係で普段より少ない56名の参加でしたが、豊島区地域支部の特徴である二十代から八十年代、老・壮・青の幅広い年齢層が集いました。

司会進行は、清涼感に溢れる着物姿の長尾睦子副支部長と、若手のホープ中西大輔常任幹事で賑やかに進められました。先ず、白



砂正人支部長からオープニングの挨拶が行われました。

そして、三浦昭生北部支部支部長の乾杯の音頭で、暑気払いがスタートしました。

例年特別ゲストでご挨拶頂いておりました豊島区高野之夫区長は、ご公務のため欠席となりました。

今回は、昨年同様、参加者同士の交流をゆつくりと行つて頂くために、パフォーマンス等のイベントは一切行わず、二〇一五年九月二十日に開催されたマンドリン倶楽部OB会メモリアルオーケストラ第1回定期演奏会の実況録音をBG Mとして会場に流しました。「音楽

は和なり」の考えの下、マンドリン倶楽部主将であった故古賀政男校友が作曲された名曲が流れる中、各校友間の話しも更に弾みました。

なお、多数の初参加者がおりましたので登壇頂き、お一人お一人自己紹介を行って頂きました。今回も多士済々で、弁護士、金融機関営



業職、人材派遣会社スタッフ、大手百貨店のOBの方々などが参加頂きました。

また、豊島区地域支部の活動告知として、暑気払い翌日の八月六日(日)開催、としまNP推進協議会(柳田好史副幹事長が代表理事)主催のフリーマーケット「えんがわ市」出店のご案内も行われました。

楽しい時間もあっという間に終わり、待ちに待った校歌斉唱を応援団出身で久しぶりに大阪転勤から東京に戻られた橋爪孝利常任幹事のリードにより、参加者全員で円陣を組み大合唱となりました。

そして、閉会の挨拶を猪瀬典夫副支部長が行い、締めは兼村仁常任幹事の三本締めで二〇一七年暑気払いはお開きとなりました。



◆文責 幹事長 板橋光一

(昭和47年法学部卒)



※写真左より平山康宏さん(商)、松永幸康一さん(法)、鈴木慎二さん(法)、吉田真由美さん(情コミ)さん、井上裕貴さん(法)

今年の集いには五人の校友が新たに遊びに来てくれました。写真左から
 ■平山さん、西武デパートOBで野球人脈は一味違います。
 ■松永さんは今月号の明治魂にも寄稿して戴きましたが学生の頃は陸サーフアーだった様です。
 ■鈴木さんはなんと！遠く神奈川からのご参加でした。
 ■紅一点、吉田さんは西武信金さんのバリバリOLさん。
 ■最後は井上さん、弁護士さんですが何を訊いてもこれから、これからと謙遜フレーズの繰り返しでした。(笑)次

回、十一月の総会懇親会も、お待ちしております。

◆ あついでよあ〜！ ◆



「えんがわ市」に出店

平成二十九年八月六日(日)、

柳田好史副幹事長が代表理事を



しております「としまNPO推進協議会」主催で毎月第二日曜日に池袋第二公園で行われていますフリーマーケット「えんがわ市」に出店しました。

三浦シニアフェロー、板橋幹事長から商品が提供され、また、今回も長尾副支部長から手作りのお菓子を提供頂きました。販売員と



※報告 板橋光一
 昭和47年法学部卒

して、三浦シニアフェロー、三浦夫人、白砂支部長、板橋幹事長、藤田常任幹事が参加され1万円以上の売上が上がりました。売上は、豊島区を通じて全額寄付することになっております。
 最高気温33.5度を記録した猛暑の中、前日の暑気払いの会場でのお知らせが功を奏し、豊島区地域支部関係の方が十六名ほど来場頂き、売上に貢献頂きました。
 今後も年2回参加することになっておりますので、引き続きのご協力をお願いいたします。

御嶽神社七夕祭マンドリン倶楽部
 メモリアルオーケストラ報告

七月二日、池袋御嶽神社にて行われた恒例「七夕祭」にて今年もマンドリン倶楽部OB会メモリアルオーケストラにご参加頂きました。

当日はうだるような暑さの中でしたが「川の流れるように」「いい日旅立ち」などバラエティに富んだ演奏をご披露頂きました事、心より感謝申し上げます。

※報告 中西大輔
 平成21年政経学部卒



明治魂を伝える

松永 康一

株式会社 エヌ・ジェイ・ケイ

スタッフサービス

昭和六十年 法学部卒

今から三十六年前、浪人生活の末、第一志望の大学に入れず落胆していたが、やっとのことで受験勉強から解放された安堵感もあり、大学に入ったなら遊ぶ気満々であった。

まずはサークルに入ろうと田中康夫の「なんとなく、クリスタル」に出てきそうなサーフアールックで決め、当時、御茶ノ水駅前の「丘」という喫茶店（ガロの「学生街の喫茶店」のモデルと言われている）でサーフィン部のミーティングがあるのことで早速、入部を申し込みに行く。週末の千葉の外房での練習や伊豆での合宿等にも参加するが意外と上下関係の厳しいサークルであることに辟易して夏を前に辞め、その後は友人を

誘い週3ペースで昼間は海、夜は新宿のディスコに繰り出すという生活が始まる。

当然、朝は苦手で昼過ぎに目が覚め、それでも今日は学校に行くかどうかどうか迷っていた。親もあきれて「今日も授業無いの？随分、大学って暇なんだね。」と皮肉を言われる毎日。（こんな息子に学費を払い続けてくれた親に感謝。）万事、こんな調子で出欠の厳しい授業は何とか出ていたものの、要領の悪かった私は試験前に友人のノートをコピーして必死に勉強するが成績表はほとんどが「可」という有り様。それでも懲りずに遊ぶ金欲しさに大半の時間をバイトに費やす。当時、下落合に学徒援護会

という学生にアルバイトを紹介してくれる場所があり、すぐにお金をもらえる日雇いや短期の仕事ばかりを選びバイトに精を出していた。

海、ディスコ、バイトとろくに勉強もせず随分、気ままな学生生活を送っていたものだ。我ながら感心するが当時はいつまでも志望の大学に入れなかったことを引きずり心の空虚感を埋めるために現実から逃避していたのかも知れない。しかし、少年老い易く学成り難しの言葉の通り、あつという間に3年間は過ぎ、そんなこんなで過ぎた大学生活も最後のイベントである就活を迎える。成績も悪く要領も悪かったことから、どこか



右の写真は卒業式に記念館前で。みんな若っ！

らも内定が出ないまま年が押し迫る。どうしたものかと悶々としている時に新聞の求人欄で見つけた二子玉川にある会員制フィットネスクラブに面接に行く。一通り、質疑応答が終わり、最後に言われたのは「立派な大学を出ているのにウチの様な所で、ご両

親は心配されないの」というようなニュアンスのことであった。（そうか、オレは明治なんだよな。）明治大学に入り勝手に卑屈になつていたが他人から一目置かれたことにより初めて明治であることを誇りに思えた瞬間であった。

縁あって、その後二十八年間この会社にお世話になるが五十一歳の時にまさかの事業縮小で社員全員が解雇になる。その後、4社の会社に転職するも mismatch が続き本年3月に前の会社も辞め、3か月の就職浪人、7月にやっとのことで現在の会社に入社する。

その間、ひよんなことから豊島支部の幹事会にも出席させていただき6月には北部支部の総会にも参加。この時、校歌斉唱があったが、大学を卒業後、一昨年の明大ホームカミングデーで久しぶりに母校を訪れイベントの最後に皆で肩を組みながら歌った時に続く再感動の機会となった。

世代を超えて同じ大学で学んだ同志と心が一つになる。「やっぱり、明治が好き。」「やっぱり、明治が一番。」俄然、愛校心が芽生える今日、この頃である。